

秋の病害をどう防ぐ？

ラージパッチとその他注意すべき病害とは

秋におすすめする日本芝用殺菌剤



葉腐病（ラージパッチ）だけでなく、ダラースポット病、疑似葉腐病（象の足跡病）、カーブラリア葉枯病にも高い防除効果を示します。



葉腐病（ラージパッチ）はもちろんのこと、秋に防除する必要がある疑似葉腐病（春はげ症）、ゾイシアデクライン（日本芝立枯病）に対しても高い防除効果を示します。

秋の日本芝に発生する重要病害



葉腐病（ラージパッチ）



ダラースポット病



疑似葉腐病（象の足跡病）



カーブラリア葉枯病

秋に防除が必要な重要病害



疑似葉腐病（春はげ症）



ゾイシアデクライン

ゾイシアデクラインとは

外着生根部感染菌（ETRI菌）の一種であるゴウマノマイセス菌による病害です。

病斑は疑似葉腐病（春はげ症）や葉腐病（ラージパッチ）に似ていますが全く異なる病害で、通常のラージパッチ剤では予防できません。ラージパッチ剤を散布しているのに毎年同じ場所でパッチが発生する場合には、病害診断を実施することをおすすめします。もしかするとゾイシアデクラインかもしれません。

病害が発生しやすい環境がないか チェックしてみましょう

- ☒ 排水不良箇所はどこにありますか？
- ☒ スプリンクラーの位置関係で
散水過多になっている場所はありませんか？
- ☒ 樹木や建物の日陰で
日照不足になっている場所はありませんか？
- ☒ 毎年、必ず病害が発生する場所はありませんか？

春1回、秋1回の殺菌剤散布
では病害を抑えられない可
能性があります。

可能であれば、まずは環境
改善を検討してください。
場所によっては殺菌剤の複
数回散布が必要かもしれ
ません。

日本芝病害に対する殺菌剤の上手な使い方

散布箇所	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
フェアウェイ、ラフ	オブテイン® フロアブル					オブテイン® フロアブル				
ゾিশアデクライン 発生箇所						クルセイダー® フロアブル 追加散布				
グリーン周り			クルセイダー® フロアブル 追加散布							

3月中旬から6月上旬まで、8月下旬から10月中旬まではオブテインフロアブルを全面散布。

ゾিশアデクライン、春はげ症発生箇所は8月下旬から10月下旬までにクルセイダーフロアブルを追加散布。

グリーン回りなど散水過多になりやすい場所は、5月上旬から7月中旬にかけてクルセイダーフロアブルを追加散布。